

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(堀之内ため池)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	内田俊行	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2402
	基本事業名	(107)農業基盤の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 5 5 3 6	土地改良事業	農村地域防災減災事業負担金
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度～ 28 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
緊急に改修または補修が必要なため池の整備 負担率:国55%、県30%、市14%、地元1%
堀之内ため池 1箇所

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)		29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
		工事負担金の支出 現地確認 事業説明会、地元調整					
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	ア 現地確認回数	回	4	4	4		
	イ						
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	雲南市内の老朽化したため池	ア 調査・改修するため池の数	箇所	1	1	1	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
老朽ため池の現状の把握により改修計画の作成及び改修	ア ため池改修事業費	千円	24,000	30,000	40,000		
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
・堀之内地区 事業費:40,000千円 市負担:5,600千円(負担率14%) 地元負担:400千円(負担率1%)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	3,000	3,700	5,000
		その他	千円	240	300	400
	一般財源	千円	360	500	600	
	事業費計(A)	千円	3,600	4,500	6,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
延べ業務時間		時間	20	20	30	
人件費計(B)		千円	78	78	119	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,678	4,578	6,119		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
東日本震災以降、防災減災事業については比較的予算がつきやすくなっている。	特になし。	平成28年度に完成し安定した用水の供給により計画的な水稲ができると地元は喜んでいる。また、大雨による心配もなくなり安心できる。

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(堀之内ため池)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定率負担をしている。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無			
<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に設がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。	
A 目的 妥当性	⑦ 業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	改修計画を立てるために必要な調査を行なうものである。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	負担金業務であるため、削減余地はない。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	全体を調査したうえでの緊急性を考慮している。	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	災害時のリスクを減少させるためにも積極的に取り組む必要がある。
		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

<input checked="" type="checkbox"/> 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 事業のやり方改善(有効性改善) 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(公平性改善) 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
平成28年度で完了した。																			